

群馬デジタルミュージアム事業構想【全体像】

目的

- 「群馬パーセントフォーアート」モデル事業の一つとして、地域における価値創造・経済の好循環を推進
- 県立博物館等が収蔵する文化資源をデジタル技術を用いて館外で活用し、活力と魅力に溢れた公共空間を創出

効果

- 周遊による地域経済の活性化
観光地の魅力が加わり、
日帰り⇒宿泊⇒周遊の好循環が創出される
 - ▶(愛媛)道後温泉活性化事業【H26～】
[宿泊客] H24:297万人⇒R元:340万人
- 文化資源の価値発信による県民幸福度の向上



収蔵資料のデジタルアーカイブ化 ※R5 改正法施行による博物館等の役割

【R5～】Gメッセ・県庁でデジタル展示

- 収蔵品のデジタルデータ化 24点
 - Gメッセ
 - ・西側壁面を活用した動画投影(2日)
 - 昭和庁舎
 - ・デジタルコンテンツの展示(1ヶ月)
 - ・観覧料を徴収
- R5年度受託事業者:TOPPAN(株)
→R6.1～R6.3事業実施



R5年度事業実施イメージ

【R6～】県内集客地でのデジタル展示

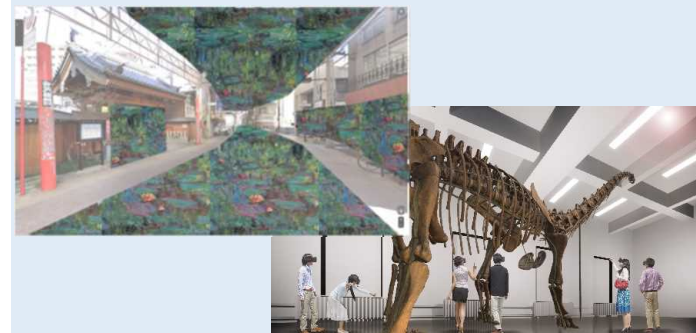
- 収蔵品デジタルデータ化 17点
 - 県内集客地(前橋商店街)
 - ・アーカイブ化したデータを用いた新しい展示(MR)※観覧料を徴収
- R6年度受託事業者:TOPPAN(株)
→R7.2～R7.3事業実施



R6年度事業実施イメージ

【R7～】県内各地でのデジタル展示

- 持ち運び可能なMRデバイスの特徴を生かし、県内各地でデジタル展示を実施
- 文化資源による観光振興、周遊効果の促進



県内各地でデジタル展示